

三鷹市の教育支援学級

▶特別支援学校・教育支援学校・通常の学級

学級定数、通学区域

特別支援学校 |学級の定数 6名 (単一障がい)
 |学級の定数 3名 (重複障がい)

三鷹市の場合⇒調布特別支援学校

※肢体不自由児⇒小平支援、けやきの森学園

※視覚障害⇒久我山青光学園

※聴覚障害⇒立川学園、大塚ろう、永福分室

※病弱⇒武蔵台学園

教育支援学級 (知) |学級の定数 8名
(特別支援学級) 学級の数プラス1人の教員 +介助員

☆通学区指定 5つの学級を設置

通常の学級 |学級 35人

▶教育課程の編成

- 特別支援学校 ⇒ 特別支援学校学習指導要領
(小学校に準ずる教育)
- 教育支援学級 ⇒
学習指導要領 + 特別支援学校学習指導要領
- 通常の学級 ⇒ 各学年学習指導要領

▶教育支援学級の教育課程

○各教科の指導

○各教科を合わせた指導

- ・日常生活の指導

 - 日常生活や社会生活で必要な基本的な内容

- ・生活単元学習

 - 一連の活動を組織的に体験する実際的・総合的な学習

- ・遊びの指導

 - 生活科、各教科等にかかわる広範囲の内容

○交流及び共同学習

 - 教科学習、給食、学年行事、学校行事など

▶教育支援学級の教育

○個別指導計画

一人ひとりの教育的ニーズに応じて作成
(子どもや保護者の願い)

1年間に達成させたい内容・目標の設定
⇒ 指導内容と指導の手立て、成果と課題

○学習形態

- ・集団指導
- ・学年指導
- ・グループ指導

(一人ひとりの生活年齢や発達段階に応じて)

▶教育支援学級での取り組み

授業がわかる

意欲的に学習したり、生活したりする

達成感と充実感を感じる生活したりする

⇒教材や教具の工夫

具体物を使って具体的に。視覚要素を入れて。

※専門家との連携

ゲストティーチャー

言語聴覚士、作業療法士など

教育支援学級の教育活動 ①



★登校 まず、学習の準備。

ランドセルや手提げを自分のロッカーに。

朝の活動がスムーズに行うことができるよう

★置き場所を決め、表示。

ロッカーや棚の一つ一つに、中に入れるものを分かりやすく表示（名前のラベルや写真を貼る等）



教育支援学級の教育活動 ②

1年生の時間割

朝の時間に今日の予定を確かめていきます



場所の確認

持ち物の確認

「きょうは **体育** の授業 があります」

体育館の写真で場所の移動を確認!

安心して1日がスタート

教育支援学級の教育活動 ③

遠足～同じ学年の一員として
(通常の学級との交流)



おわりに

<お子さんの健やかな成長にとって
大切な教育の場は?>

①お子さんが心地よく感じられる場所
～学びの主人公はお子さんです～

②少し手を伸ばせば届くことのできる課題が
いつも用意され、意欲のもてる場所
～学齡期は心も体も大きく成長する時期～